

ねくさす通信

Vol.5

【発行】令和3年10月20日

地域活動ホーム ガッツ・ビーと西

横浜障がい相談システム ねくさす

【問い合わせ】

〒220-0051 横浜市西区中央1-18-22-103

TEL045-594-7681 FAX045-594-7682

『ねくさす』は何を相談できるの？ ①基幹相談

ご自分の、ご家族の、障がいに関する心配なこと、困っていることはありませんか？
例えば、子どもの発達が心配、仕事が続かない、福祉サービスを使いたい、お家にこもりがちな子どもの将来が不安、ひとり暮らしをしたい…

そんな時は、基幹相談にご連絡ください。相談員がお話を伺います。

50代女性と80代のご両親3人暮らしのお宅を訪問している地域ケアプラザ担当者から相談をいただきました。

お母様から「娘が3年くらい前から、独り言や空笑い、夜中に急に大きい声で叫んだりしています。病院に行こうと言っても“行かない”と言うばかりです。働いていたこともありますが、もう何年もほとんど外出していません。私たちも高齢なので、娘の将来が心配です。」と相談されたそうです。



まず、区役所のソーシャルワーカーと訪問してお話を伺いました。
「病院も服薬もいや」とおっしゃる中、区の嘱託医相談をなんとか受けていただきました。その後も定期的な家庭訪問や一緒に地域に出かけるなど、ご本人・ご両親との関係作りから始めました。数か月経ってから、支援者と一緒の精神科通院を開始して、定期通院を続けられています。

ご自宅では、訪問看護師と一緒に週1回、服薬・体調の確認と軽運動をしています。



基幹相談員



通院で外出すると気分転換になります。自宅で身体を動かすのも気持ちいいです。以前はひとりで買い物に行っていたので、また行けたらいいな。

将来の生活は…今の家で暮らしたいけれど、お金の問題もあるし、どうしよう…。

病院・服薬は嫌いなのに続いているのは、ご本人なりの意義を感じていらっしゃるのかと理解しています。支援者と通院・運動をすることで、ご家族と離れる時間を作れるのもよいのかもしれません。体調が安定してきたので、ガイドヘルパーとの外出や日中に通う場所の見学を提案しています。ご両親がお元気なうちに、将来の生活に向けた準備を一緒に考えていきます。計画相談の導入も検討しています。

ご本人の気持ち・意見・希望をしっかりと伺って、ご自身のペースで、ご自身が納得して進んでいけるように、一緒に考えていきます。お困りごとがおりの方、どうぞご連絡下さい。

(基幹相談 若林)



次号は **計画相談** についてご紹介します

【横浜市障害者後見的支援制度】

～あなたの気持ちに寄り添います～

横浜市には「横浜市障害者後見的支援制度」という独自の制度があります。
これから、何号かに分けて制度のご紹介と利用している方の声をお届けします。

このまま、住み慣れた地域で生活がしたいけど
何か困った時に相談できる人が欲しいな

子どもの将来が不安だわ。
何かよい方法はないかしら

興味のあることや好きなことを
いっぱい話せる場が欲しいな

- **将来の希望や漠然とした不安等** 様々なご相談にのります。
- **地域の方や支援者と繋がり** を作るお手伝いもできます。
- ご本人を支える**支援チーム作り** を一緒に行います。

◆どんなことができるの？

• 障害のある人に寄り添いながら、その人の願う地域での暮らしが実現できる方法を一緒に考えます。

◆利用料はかかるの？

• 制度の利用に費用はかかりません。

◆どんな人が利用できるの？

• 実施区に住んでいる 18 歳以上の障害のある方
(手帳の有無は問いません)

☞ 西区にお住いの方は「ねくさす」が担当しています。
ご興味があれば、ねくさすにお問い合わせください。

横浜市障害者後見的支援制度
誕生（平成22年～）



一人暮らしを体感・体験できる！ **ねくさす**地域生活支援室

●開設から早や1年半が経過しました！

2020年5月から、当所では障害のある方が一人で見学・宿泊体験のできる『地域生活支援室』（マンションのワンルーム）をご用意しています。親亡き後であっても、身近な地域で暮らすことが選択できるよう、体験の機会を提供することなどが目的です。

• 設備内容：折り畳みベッド、テーブル、椅子、テレビ、IHコンロ、電子レンジ、電気ポット、洗濯機などの基本的な家具・家電・食器類を揃えています。ただし、WiFi環境は有りません。

●ご利用者様の声

この部屋を見学・宿泊された方々に何うと、「部屋の狭さ（21.3㎡）に驚いた」「初めてのユニットバス（風呂とトイレが隣接）や洗濯機の使用に戸惑った」「物音が気になり、夜は一人で心細い」…などの感想がありました。そのような様々な思いを踏まえて単身生活に向けての準備を行い、課題を抽出し解決するのに役立ててください。



●ご利用に際して

- 宿泊【一泊1000円、食費は実費負担】を希望される場合は、事前計画や短期・長期目標などを記載した「利用申込書」が必要です。
- 宿泊無しの見学・体験は、「無料」。他の方が利用されていない日に可能です。
- その他、利用要件がありますので、詳しくは、「ねくさす」までご相談ください。

緊急事態宣言も明けたので、お気軽にお越しください☆
次号は 2021年1月中旬頃 発行予定です

